

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

雪のいと高う降りたるを、^①例ならず御格子参りて、^②炭櫃に火おこして、物語などして、集まり^③候ふに、「^④少納言よ、香炉峰の雪、いかならむ。」と^⑤仰せらるれば、御格子上げ^⑥させて、御簾を高く上げたれば、^⑦笑はせたまふ。人々も「さることは知り、歌などにさへ歌へど、思ひこそ寄らざり【つ】。なほ、この宮の人には、^⑧さべきなめり。」と言ふ。

- (1) ①について、次の各問に答えなさい。
- (a) 「御格子」の読みを現代仮名遣いで答えなさい。
- (b) 「参り」は、誰から誰に対する敬意を表しているか。答えなさい。
- (c) ①全体を口語訳しなさい。
- (2) ②の読みを現代仮名遣いで答えなさい。
- (3) ③について、次の各問に答えなさい。
- (a) 「候ふ」の読みを、送り仮名も含めて現代仮名遣いで答えなさい。
- (b) 誰から誰に対する敬意を表しているか。答えなさい。
- (4) ④について、次の各問に答えなさい。

- (a) 「香炉峰の雪」とは、ある書物の一部を踏まえた表現である。その書物名と書物の著者名を答えなさい。

(b) 中宮は、この言葉を通して、少納言に何をほしかったのか。簡潔に説明しなさい。

(5) ⑤を品詞分解しなさい。

(6) ⑥を文法的に説明しなさい。

(7) ⑦について、次の各問に答えなさい。

(a) この部分の主語を答えなさい。

(b) 「せ」を文法的に説明しなさい。

(8) 【つ】を適切な形に直しなさい。

(9) ⑧について、次の各問に答えなさい。

(a) 「さ」と「な」を文法的に説明しなさい。

(b) ここでは、誰がどうだ、ということを行っているのか。簡潔に説明しなさい。

(c) 「人々」が(b)のように言ったのは何故か。簡潔に説明しなさい。

(10) 次の文章の空欄ア～ケに適切な語を入れなさい。

本文は『ア』からの引用である。『ア』は、イ時
代中期、ウによって書かれたもので、ジャンルはエで
ある。ウはオに仕えた。
また、同じエとして、『ア』の他、時代順に『カ』
『キ』がある。『カ』の作者はク、『キ』の作
者はケである。

- (1) (a) みこうし (b) 作者から中宮定子へ
- (c) いつもと違って御格子を下ろし申し上げて
- (2) すびつ
- (3) (a) そうろう (b) 作者から中宮定子へ
- (4) (a) 書物名…白氏文集 著者名…白居易
(b) 雪景色が見えるように御簾を上げること。
- (5) 仰せ／らるれ／ば
- (6) 使役の助動詞「さす」の連用形
- (7) (a) 中宮定子 (b) 尊敬の助動詞「す」の連用形
- (8) つれ
- (9) (a) 「さ」…ラ変動詞「さり」の連体形「さる」が撥音便化して「ん」が無表記となった。
「な」…断定の助動詞「なり」の連体形「なる」が撥音便化して「ん」が無表記となった。
- (b) 中宮にお仕えする人として、清少納言が適当だ、ということ。

- (c) 中宮定子が漢詩を踏まえて言ったことを受けて、清少

納言は機転を利かせて御簾を上げたから。

- (10) ア 枕草子 イ 平安 ウ 清少納言 エ 随筆
オ 中宮定子 カ 方丈記 キ 徒然草
ク 鴨長明 ケ 兼好法師